

ITEM-13601

・器具の取付には電気工事士の資格が必要です。必ず工事店に依頼してください。

施工説明

工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

・本商品は定期的な保守点検が必要です。保守点検には、専門のサービス会社とのメンテナンス契約をお勧めいたします。

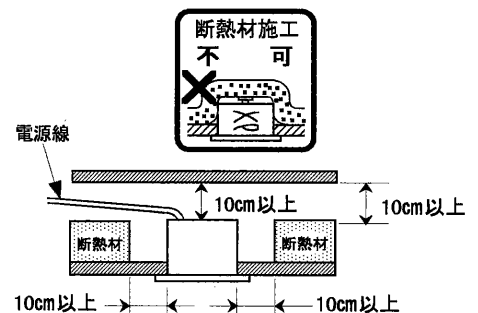
48時間充電後 → 非常点灯の確認をしてください。

電池は設置後通電し、充電しないと非常点灯しません。

安全に関するご注意

警告

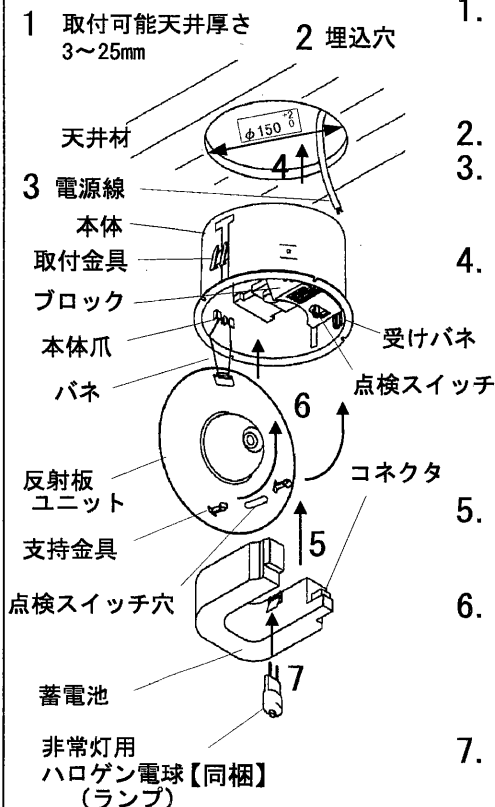
- 施工は、取扱説明書にしたがい確実にこなしてください。
施工に不備があると火災・落下・感電の原因となります。
- 断熱材、防音材をかぶせて使用しないでください。火災の原因となります。
- 器具を改造したり、構成部品の交換をしないでください。火災・感電・落下の原因となります。
- 天井埋込専用ですので、壁取付や天井直付はしないでください。
火災・落下・感電の原因となります。
- 電源は専用回路とし途中にはスイッチを設けないでください。
非常点灯しない原因となります。
- 表示された電源電圧（定格電圧±6%）、周波数以外の電源で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。
- 通電前に非常灯ハロゲン電球を取付けないでください。やけど・感電の原因となります。
- 蓄電池を分解したり火や水に投入しないでください。
火災・破裂・やけど・感電の原因となります。



注意

- 直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、振動のある場所、雨の吹き込みを受ける場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。火災・落下・感電の原因となります。
- 周囲温度は、5～35℃以外では使用しないでください。蓄電池の劣化や火災及び非常時点灯しない原因となります。
- 取付面がクロス貼りの場合、接着剤が十分に乾燥してから器具を取付けてください。サビや変色の原因となります。

各部のなまえと取付け方



1. 取付前の確認

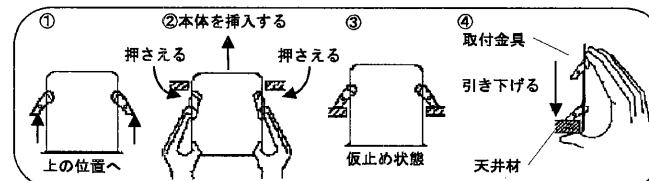
器具重量（1.2kg）に十分耐えるよう取付部の強度を確保する。
不備がありますと器具落下の原因となります。

2. 天井にφ150±2の埋込穴をあける

3. 電源線を端子台に接続する

必ず電源を切ってから電源線を接続する。端子台の送り容量は20Aです。接続が不完全な場合、容量オーバーした場合火災の原因となります。

4. 本体を取付ける



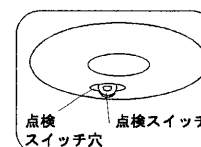
不備がありますと器具落下の原因となります。

5. 蓄電池を取付ける

蓄電池のコネクタをブロックのコネクタに合わせ蓄電池を押し上げる。
接続が不完全な場合、非常点灯しません。

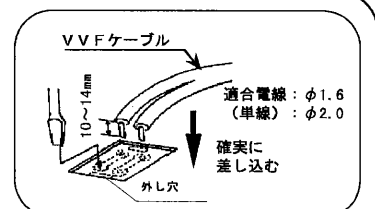
6. 反射板ユニットを取付ける

本体爪にパネを合わせて反射板ユニットを押し上げた後、受けパネに支持金具を合わせ点検スイッチを点検スイッチ穴に入るようにして、パチンと音がするまで反射板ユニットを押し上げる。

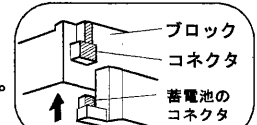
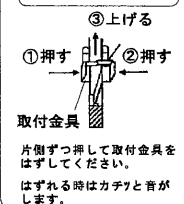


7. 非常灯用ハロゲン電球（ランプ）を確実に取付ける

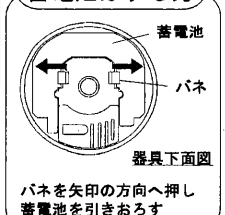
電源通電確認後、非常灯用ハロゲン電球を取付ける。
電源通電前に電球を取付けると電球が点灯して高温になり、やけどの恐れがあります。また電池は放電します。



はずす方法 （器具の方向調整の場合）



蓄電池はずし方



※この図は一部省略抽象化した部品図です

この紙は再生紙を使用しています。

取説No. LTLB9166013-TA1 00.01.13

お客様へ、この説明書は必ず保管ください。

・ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意

 警告

- 器具を改造しないでください。火災・感電の原因となります。
- 万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常状態のままで使用すると、感電・火災の原因となります。すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼してください。

⚠ 注意

- 電池を加熱したり、火や水の中に入れたりしないでください。破裂する危険があります。
- 電池は絶対に分解しないでください。やけど、感電の原因となります。電池内の液は、皮膚や衣類をいためます。
- 電池のショートは絶対にさけてください。火災、破裂、やけど、感電の原因となります。
- 照明器具には寿命があります(*1)。3～5年に1回は、工事店等の専門家による点検を実施していただき、不具合がありましたら適切に処置してください。放置すると、火災の原因となることがあります。

*1 照明器具の寿命は、使用条件、使用環境で異なりますが、一般的な目安は10年です。

 警告

電池・ランプ交換時、器具に取付けられている電池・ランプと同じ品物とお取り替えください。
故障・ランプ破損の原因となります。

器具の種類と交換部品

(専用電源電圧 AC100V 50/60Hz)

品 番	IEM-13601
交換電池	FTLK697C (4.8V 2500mAh)
適合ランプ	J E 4.8 V 13W

取付後の確認とお願い

48時間以上器具に通電した後に、以下の項目をご確認ください。

- モニターランプが点灯していることを確認してください。
- 点検スイッチを引っ張って点灯を確認してください。
30分以上点灯すれば正常です。
蓄電池が放電している場合は、48時間以上通電してから確認してください。
- 点検時以外は点検スイッチを操作しないでください。
- 電源を通電しないまま電池コネクタをつないで放置しないでください。
非常時に点灯しません。また、蓄電池の寿命が短くなります。
- 長時間使用しない場合は、蓄電池をはずして保管してください。

定期点検について

- 3ヶ月に1回は、破損、変形などの外観の点検をお進めします。
- 6ヶ月に1回は、必ず非常点灯持続時間（30分間以上）、切替動作などの機能点検を併せておこなってください。
- 蓄電池の寿命は一般的に4～6年です。48時間以上充電しても30分間以上非常点灯しない場合は、蓄電池を交換してください。
- ランプ、蓄電池などの交換部品は指定のもの以外は使用しないでください。

定期点検（3ヶ月に1回）の処置・対策

点検項目	確認項目	原因	対 策	
外 観	器具の変形、損傷の有無		器具又は部品交換	
	反射板の汚れ		柔らかい布でふく	
機 能	モニターランプ（緑色） 点灯の有無	消 灯	● ランプのゆるみ ● フィラメントの断線	● ランプを正常に取付 ● ランプを交換
	点 灯		蓄電池コネクタ- のはずれ	コネクタ-を 確実に接続
			蓄電池ヒューズ切れ	ヒューズ交換
	点検スイッチを引っ張り 非常点灯に切替る	いいえ	充電不足	4 8 時間以上充電
	はい	点検スイッチを引っ張り 非常点灯に切替る	いいえ	ブロックの異常
性 能	4 8 時間以上 通電している	はい		
	電源を切る			
	蓄電池が 3 0 分間の 非常点灯を維持できる	いいえ	蓄電池の寿命	蓄電池の交換
		はい	電源を通電	
	モニターランプ（緑色） 点灯の有無	完了		点検結果の記録

点検記録

[illegible]

Ni—Cd

この器具は、ニカド電池を使用しております。ニカド電池はリサイクル可能な貴重な資源です。
ニカド電池の交換、およびご使用済製品の廃棄に際してはニカド電池を取り出しリサイクルへご協力ください。

東芝ライテック株式会社

施設・H I D事業部 〒140-8660 東京都品川区南品川 2-2-13 (南品川J Nビル)

取説No. LTLB9166013-TB 99.12.15

<生産完了 2004年01月01日>
IFM-13601 (2 / 2)